



令和7年2月18日発行 NO11
飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職：水口 悟
TEL: 0577-33-1111 (内線 235)
E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

わが子育てに向き合う時間

< 通信【飛騨っ子】 >

◇ 下呂市立竹原小学校 入学説明会 自立心 学校行事参加型

○期日:令和7年1月14日(火) ○主催:下呂市立竹原小学校 ○講師:下呂市地域振興課 課長補佐

<主な日程 入学説明会>

- 13:30～ 学校長 挨拶
- 13:35～14:20 家庭教育学級
テーマ
 - ・入学までにしておきたいこと
 - ・新しい環境で生活する子ども達を受け止めるために



< 愛のあるIメッセージを! >



< 強みを知ろう! >

竹原小学校では、入学説明会の機会を活用し、来年度入学する児童の保護者皆さんを対象とした家庭教育学級を位置づけています。学校(園)は保護が集まる機会が多くあります。また、学校(園)は、お子さんを通して保護者同士のつながりがあります。この2つの強みを活かし、保護者の皆さんに子育て・家庭教育の情報や学びを提供し、子育てのつながりをつくることはとても大切です。子どもたちにとって、学校の教育と家庭の教育がバランスよく届くことは、とても幸せなことです。

<主な講話の内容>



○ 愛のあるIメッセージを伝えましょう!

「お母さん(お父さんは)は、～なふうに感じたよ。」主語をI(私)にすることで、愛情を伝えやすくなります。わが子の存在そのものを大切にしながら、愛(Love)メッセージを伝えましょう。また、自分の目線に色がついていることを想像してみてください。わが子に向かう目線の色が、例えば暖かい色なのか冷たい色なのかを意識してみることも大切だと思います。

○ ‘強み’を見つけましょう!

「性格診断表」を活用し、わが子の強み・わが子育ての強み・わが家庭の強みを考えてみましょう。まわりの方と交流してみましょう。わが子の自己肯定感や自分自身の子育ての肯定感を高めることにつながると思います。



<参加者の感想>

- ・毎日の生活の中で「自分の強みって何だろう?」と考えることがないので、改めて自分のことを見つめ良い機会となりました。子どもに対しても、つついダメなところに目が行きがちになってしまうので、時には「この子の強みは何だろう?」と考え、そこを伸ばしてあげられるようにしていけるといいなと思います。抱きしめさせてくれるうちに、いっぱい抱きしめておこうと思います。
- ・日々、子育てで悩むところがあります。今日のお話を聞いて子どもに対する接し方、自分の考え方、行動について振り返ることができました。自分の考え方の特徴を知ることができておもしろかったです。頭の片隅におきながら、日々の生活も自分の仕事にも活かしていけたらと思いました。

◇ 社会福祉協議会 高山市児童館 親子体操 自立心

○期日:令和7年1月29日(水) ○会場:ビッグアリーナ ○主催:高山市児童館 ○講師:地域講師



<1月の行事予定 TAP CLICK>



< 前半のエクササイズ >



< 後半のエクササイズ >

て、身体を動かすことを嫌いにならないようにしましょう。」「身体の中に酸素をたくさん取り入れ、血流をよくしましょう。」と、運動の大切さを話されました。

<代表者の声(お礼)>

今日は、ありがとうございました。家の中ではなかなかできないし続かないけれど、こうして参加することで子育て中であっても運動することの心地よさや大切さに気付くことができました。自分でできるストレッチだけでも、心がけていきたいです。

<参加者の声>

家から出てくる時は大変なこともあるけど、がんばって出て来ます。いろいろな方とお喋りできて、私も子どもも楽しいです。「母親クラブ」に支えられていることを実感します。年間の様々な活動を通して、わが子が興味を持っていることや好きなことを発見することができ、そこを伸ばしてあげようという気持ちになれます。

・「母親クラブ」の存在

高山市には、5つの児童館があります。それぞれの特色を活かして運営をしています。また、5つの児童館には来館される保護者皆さんを対象とした「母親クラブ」(希望制)が活動をしています。

年度初めには、5つの児童館それぞれで「母親クラブ」の会員さんたちが集まり、市の補助金で実施する年間の活動内容について相談します。

年間の活動が決まると、行事を当番制で担当し、内容に応じて講師の先生と連携するなど、準備を進めていきます。児童館職員の皆さんは、黒子となり「母親クラブ」を支えてみえます。児童館職員と保護者(利用者)が力を合わせて、よりよい児童館をつくり出していることが伝わってきます。

子育て中の保護者の方々が主体的に活動を計画し進める姿勢(社会参加・参画)を育むことは、子育ての肯定感を高め子育てを前に進める力を育んでいます。



・親子体操

軽快なリズムと講師の方の動きのポイントに合わせ、身体を動かします。わが子を身体を中心に抱きかかえてバランスを整えます。その場の動きから、前後の動き、そして左右の動きへと運動のバリエーションを増やしていきます。

後半になると、エクササイズの内容も少し高まり、普段使わない筋肉を伸ばしたり呼吸の仕方を意識したり姿勢を正したりします。子どもたちも慣れてきたのか、リズムやお母さんの動きに合わせて動き、真似ています。

講師の方が、「運動神経が発達していく時期を大切に



子育て・家庭教育学級等のミニ情報

子どもの心と脳がすくすく育つために
マルトリートメント（マルトリ）とは、児童虐待と言い切れなくても、大人から子どもへの 避けるべき関わり のことです。



<TAP CLICK>

情報セキュリティ すごろく

県立岐阜総合学園高等学校マルチメディア部の生徒が中心となって、情報モラル遊びながら学べるすごろくを作成しました。

情報モラル かるた

小中学生の情報モラルの意識向上を目的に、県立岐南工業高等学校生（読み札制作）と岐阜私立女子短期大学生（取り札制作）が中心となり作成した教材です。

すごろく・かるたは、飛騨県事務にあります。貸出 OK！（40 セット）
家庭教育学級等で活用してみたいかがでしょう。

連絡先：飛騨県事務所 振興防災課
（0577-33-1111 内線 234 担当：中川）



< 情報セキュリティ すごろく >



< 情報モラル かるた >



<TAP CLICK>

【お願い】 アンケートにご協力ください。 <TAP CLICK>

通信の目的は、飛騨地区の家庭教育（学級）のさらなる充実に向け、各園・学校、関係諸機関や団体等の取組や家庭教育に関する情報等を紹介することです。

皆様の家庭教育学級応援通信【飛騨っ子】についてのご意見ご感想を参考に、よりよい通信にしていきたいと思います。

<期間> 令和 7 年 2 月 1 7 日（月）～ 3 月 1 7 日（月）

* ご意見ご感想等を通信にて紹介させていただく場合があります。



「話そう！語ろう！わが家の約束」運動（在宅取組）のよさ



仕事中心となりがちな生活の中で、自分の子育てを見つめる時間つくることは重要です。わが子の小さながんばりや健やかな成長に気づくことができたなら、どんなに幸せなことでしょう。そして、わが子の小さながんばりや健やかな成長を自分自身のがんばりや成長として捉えられるようになったら、どんなに楽しいことでしょう。

岐阜県では、親子や家庭内の豊かなコミュニケーションを生み出す（ほめる・励ます・アドバイスする・一緒に取り組むなど）ことを目的とし、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を推進しています。

この運動は、各園や学校などでリーフレットを活用したり実践カードを作成したりして、取り組まれています。（リーフレットの希望者は、飛騨県事務所 振興防災課 0577-33-1111 内線 235 水口まで）



<運動のよさ>

- ① 各家庭の状況に合わせて（めあて 期間など）取り組むことができます。
- ② 家庭の豊かなコミュニケーションは、わが子が自己肯定感（安心感・所属感）を高めます。
- ③ わが子の成長を保護者自身の成長と重ね合わせて捉えることで、保護者自身が子育ての肯定感を高めることができます。
- ④ 園や学校のテーマ（課題）を家庭と共有して取り組み、同じ目線で子どもを育むことができます。
- ⑤ ひにんちのうりよく 非認知能力（数値では測ることができない力）を育むことができます。＊
「自制心(我慢する力)」や「グリット（やり抜く力）：Guts(度胸)・Resilience(復元力)・Initiative(自発性)・Tenacity(執念)」は、大切な非認知能力だと言われています。
- ⑥ わが子が保護者へ援助希求（SOS）をしやすく、保護者がわが子の援助希求（SOS）を受容共感しやすい関係を培います。

＊日本人選手として初めてMLB殿堂入りを果たしたイチロー選手の「自分の能力を生かす能力は別にあることを知っておいてほしい。」というメッセージからも、非認知能力を育むことの大切さが伺えます。

<関連する取組 TAP CLICK>



<R3 金山小学校>



<R3 高山市>



<R4 古川小>



<R5 丹生川中学校>